

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市中部身体障害者福祉会館	評価対象年度	令和7年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人 川崎市身体障害者協会 ・代表者名 理事長 関山 進 ・住所 川崎市川崎区大島1丁目8番地6号	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	[講習会・ボランティア育成事業](延べ人数) ・手話入門講習会(昼間) :38名、全4回 ・手話入門講習会(夜間) :137名、全10回 ・夏休みこども手話教室 :60名、全4回 ・夏休みこどもパステルアート教室 :13名、全1回 ・夏の海を描こう!こども3色パステルアート教室 :11名、全1回 ・文化教養講座(絵手紙教室) :9名、全1回 ・吃音講座 :13名、全1回 ・コミュニティカフェ講座 :6名、全1回 ・傾聴入門講座 :11名、全1回 ・音声訳入門講座 :31名、全3回 ・文化教養講座(パステルアート教室):8名、全1回 [作業室]契約者数(令和8年3月31日時点) ・生活介護 :18名(定員15名) ・就労継続支援B型:4名(定員10名)																														
収支実績	<table> <tr> <th colspan="2">収入</th><th colspan="2">支出</th></tr> <tr> <td>給付費・利用料他</td><td>41,139,697</td><td>人件費</td><td>53,377,208</td></tr> <tr> <td>指定管理委託料等</td><td>27,311,866</td><td>事務費</td><td>11,710,399</td></tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td><td>0</td><td>事業費</td><td>3,962,093</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>2,158,888</td><td>事務局経費</td><td>4,336,429</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>その他</td><td>0</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>70,610,451</td><td>合計</td><td>73,386,129</td></tr> </table> 収支差額 -2,775,678円			収入		支出		給付費・利用料他	41,139,697	人件費	53,377,208	指定管理委託料等	27,311,866	事務費	11,710,399	拠点区分間繰入金	0	事業費	3,962,093	その他	2,158,888	事務局経費	4,336,429			その他	0	合計	70,610,451	合計	73,386,129
収入		支出																													
給付費・利用料他	41,139,697	人件費	53,377,208																												
指定管理委託料等	27,311,866	事務費	11,710,399																												
拠点区分間繰入金	0	事業費	3,962,093																												
その他	2,158,888	事務局経費	4,336,429																												
		その他	0																												
合計	70,610,451	合計	73,386,129																												
サービス向上の取組	・各講習会の実施にあたり、より多くの方が参加いただけるよう、会館ホームページによる情報発信をはじめ、町内会等へのチラシの配布、新聞折り込みの地域情報誌(タウンニュース)への掲載など、様々な広報活動に取り組んだ。 ・利用者が作業室の外で活動する機会を通して、社会的経験を拡大するために、中原区民祭や手をつなぐフェスティバル等の外部での販売活動や日帰り旅行・外出プログラムを企画・実施した。																														

3. 評価 (評価段階: 5→1,標準: 3,加点割合: 5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点	
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	3	6	
	事業成果	利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか	10	4	8	
		基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか				
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか				
	(評価の理由)					
	【利用者への支援】 ・看護師によるバイタルチェック(体重測定、血圧測定)や、嘱託医による往診及び健康相談をそれぞれ月1回実施するとともに、本人や家族の健康管理に対する意識向上の為に、バイタルチェックのデータ等については、3か月ごとに利用者及び家族に報告を行った。 ・利用者の社会参加や地域との交流機会を増やすことを目的として、新たに土曜日に開催される地域のイベント等に参加する土曜プログラムを試行し、中原スポーツまつりに参加した。また、作業室外での活動に取り組み、地域で開催された手をつなぐフェスティバル等のイベントへの参加や小グループで利用者が話し合いにより行先を決める外出プログラム等を行うことにより、利用者の社会参加の促進や自己決定・自立性の向上につながった。					
	【事業成果】 ・広報活動・情報提供として、中身館通信の発行(年2回)や、会館主催講習会に関するホームページによる情報発信、ボランティア広報誌、地域情報誌「タウンニュース」等を活用し、幅広い市民への周知に努めるとともに、ホールの閲覧コーナーにパンフレット、広報誌等を設置し、利用者が情報を得られる環境を整備した結果、会館の認知度向上と情報発信の充実につながり、会館の利用実績が増加し8,926人となった。 ・地域交流事業として、地域住民との交流促進及び施設の取組への理解促進を目的に、会館利用団体で構成する実行委員会形式により「中身館フェスティバル」を企画・運営し、中身館を利用する福祉団体等の日頃の活動やその成果を広く市民に紹介する機会となり、地域住民と利用団体との交流を深める場となった。参加者は約250名となり、地域福祉への理解と関心の向上に寄与した。また、コミュニティカフェを開催し、地域住民の参加も増加し206名の方が参加し、交流や普及活動につながった。 ・中身館フェスティバルや中原区民祭、手をつなぐフェスティバルにおいて、自主製品の販売活動を行うことで、利用者の社会参加を促進するとともに、令和6年度と比較して平均工賃の増額につながった。					
	収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
			支出に見合う効果等が図られているか			
		収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか				
適切な会計手続		会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
		事業収支に関して適正な会計処理がなされているか				
(評価の理由)						
【支出状況】 ・概ね計画に基づく適正な支出が行われた。						
【収入状況】 ・収入については、利用者の入院等により給付費収入が減少したが、概ね計画通りとなった。						
【適切な会計手続】 ・社会福祉法人会計基準に基づき、適切に会計処理を行った。						
	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6	
	サービス向上への取組	利用者への支援を適時かつ十分に行っているか	5	3	3	
		現状分析、課題把握等を常に行っているか				
		サービス向上に向けた取組がなされているか				
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3	
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				

サービス体制	(評価の理由) 【適切なサービスの提供】 ・利用者の意思や主体性・自主性を尊重する取組として、利用者と職員合同での話し合いの場において、利用者からの発言を促すことや、人前で自分の意見を話すことに慣れってもらうため、「朝の会」で利用者に司会を担当してもらう取組を実施するとともに、利用者の社会参加を促す取組として、地域のイベントに出向いての販売活動や、日帰り旅行・外出プログラムを積極的に実施した。 【サービス向上への取組】 作業室において、福祉サービス第三者評価を受審することにより、意見があったBCPについて、詳細な内容に見直す等、サービスの質の向上に活かすとともに、研修の充実により職員の資質の向上を図り、安全・安心で効果的な会館運営を心がけ、障害者の自立と社会参加促進の実現を目指した質の高いサービスを提供できるよう努めた。 【利用者の意見・要望への対応】 ・アンケート調査により会館利用に関して、トイレの荷物を置く場所がないといった意見をいただき、施設の利便性の向上のため、荷物をかけるフックを取り付ける等の対応を行った。 ・意見箱の設置や保護者会(毎月1回)・利用団体懇談会(年1回)の開催の中で、利用者や利用団体からの意見・要望を受け止められるような体制を整えるとともに、寄せられた意見・要望等に対しては、検討及び改善を図った。					
	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3	
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか				
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3	
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3	
		緊急時の連絡体制を構築しているか				
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3	
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	4	4	
	(評価の理由)					
	組織管理体制	【適正な人員配置、連絡・連携体制】 ・仕様書上の基準の人員配置に加え、看護職員を1名多く配置した。 【担当者のスキルアップ】 ・会館職員及び作業室職員を対象に定期的な面談を実施し、業務課題や研修課題を整理することで資質向上に取り組んだ。また、常勤職員は原則として全員が外部研修等に参加することとし、研修後には職員会議で報告し意見交換を行うことにより研修成果を共有することで、他の職員のスキルアップにもつながった。 【安全・安心への取組】 ・安全・安心への取組として、利用者の要望や利用団体懇談会から出された意見をもとに、車椅子利用時の安全確保のための段差解消等、施設内での事故につながるおそれのある情報を収集し、課題や問題点を把握して事故の未然防止策を講じて事故防止に繋がった。 ・非常時や災害時に備えた取組として、年2回の防災訓練に加え、BCP及び「洪水時の避難確保計画」に基づく、垂直避難訓練を実施を行うとともに、施設内で安全運転講習会を実施し、会館・作業室の常勤職員全員が参加した。 ・事故に繋がる恐れのある事例は、ヒヤリハットとして報告書の作成及び管理者への報告を行うとともに、毎日の職員ミーティングや月1回の職員会議等において、情報の共有及び対応策の検討など、事故防止に努めた。 【コンプライアンス】 ・服務規程や各種マニュアルを電子化し、職員各自のパソコンから閲覧できる体制の整備や、月1回の職員会議や毎日のミーティングの中で、法令遵守を徹底するとともに、法人の「情報端末等取扱要領」に基づき、パソコンやスマートフォン等の情報機器を施設外に持ち出す際の管理を強化した。 【職員の労働条件・労働環境】 ・利用者の安全確保と職員の負担軽減を目的として、国の補助金を活用し移乗用ロボット「Hug」を導入し、車椅子利用者のトイレやベッドへの移乗時における転落事故の防止を図るとともに、職員の腰痛等の労働災害リスクの軽減に繋がった。				
施設・設備の保守管理		安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3	
管理記録の整備・保管		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3	
清掃業務		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3	
警備業務		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか				
備品管理		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3	
(評価の理由)						
適正な業務実施		【施設・設備の保守管理】 ・施設設備の安全管理のため、チェック表を活用して、1日1回職員が施設設備等に問題がないか館内の点検・確認を行った。また、専門的な保守点検等が必要な設備に関しては、専門業者へ保守点検・整備業務を委託するなど安全管理に努めた。 【管理記録の整備・保管】 ・会館の日々の利用状況や建物の管理状況は、業務日誌に記録するとともに、年度毎のファイルに綴り、修繕関係書類は、業務毎のファイルに綴るなど、職員が確認を行いやすいよう整理している。 【清掃業務、警備業務】 ・利用者が安全かつ気持ちよく会館を利用できるように、会館内の清掃及び警備部分については、業務委託等を通じて実施した。 【備品管理】 ・物品管理台帳による備品管理と定期点検を行い、故障や破損の未然防止に努めるとともに、携帯型磁気ループシステムやAEDなどの重要備品を適切に維持管理するとともに、利用者ニーズに応じた消耗品の補充を行った。				

4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか。			0
	(評価の理由)				

5. 総合評価

評価点合計	63	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・地域住民との交流や当該施設の取組を知っていただく機会の提供を目的とした地域交流事業において、「中身館フェスティバル」や「コミュニティカフェ」を開催し、施設目的である地域における身体障害者の福祉が増進されるよう事業運営を行っている。
--

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・施設目的である地域における身体障害者の福祉が増進されるような事業運営を継続的に行うこと。 ・作業室における利用率向上に向けた取組を継続的に行うこと。 ・適切な職員配置を維持・継続できるよう事業運営すること。
--